

10月26日(金)～11月22日(木) 満月セレクト

— 今回のセクター ご紹介 —

Music Selector : ニック・ラスコム



ニック・ラスコム

BBCでレギュラー番組を持つロンドンのDJ。常に世界中の良質な音楽を見つけてはラジオ番組や生のDJを通じてそれを多くの人とシェアする、1ヶ所には留まることが出来ない幅広い知識を持つ音楽好き。BBC Radio 3の深夜番組Late Junctionに出演する傍ら、自分で制作し、数多くのラジオ局に配給する週に一度の番組Flomotion Radioも作り、世界中の都市のために新しい音楽を委託するMusicity機構の創設者でもある。

今回のセレクトCD

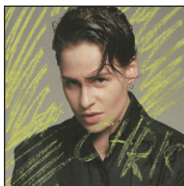
1.



Maribou State / Kingdoms in Colour (Counter / COUNTCD156)

「キングダムズ・イン・カラー」はクリス・デヴィッツとリアム・アイヴォリによるイギリスの電子音楽の二人組マリブー・ステイトの2作目のアルバムです。メロディとニュアンスに富んだグルーブが溢れる豊かなサウンドには落ち着きも刺激もあります。ゲストのホリー・ウォーカー、ノース・ダウンス、そしてテキサスのチル・ロック集団クランピンがヴォーカルで参加しています。2018年度の最も充実した作品のひとつ、音楽の特効薬と呼びたいほどです。

2.



Christine and the Queens / Chris (Because / BEC5543601)

フランスの歌手でソングライターでプロデューサーのクリスティーン・アンド・ザ・クイーンズことエロイズ・ルティシエによる素晴らしいポップ・レコードです。彼女は音楽の他にパフォーマンス、アート・ビデオ、絵や写真も手がけるマルチ・タレントで、今年の夏を代表するヒット曲「ガールフレンド」は今年のベストの一つ。カリフォルニア州バサディーナのファンク系ミュージシャン兼プロデューサー、カリフォルニア・ダム・ファンクにプロデュースされた「ガールフレンド」は黄金時代のマイケル・ジャクソンにパンクなニュアンスを加えた感じの、楽しさ満載の曲です。

3.



Jorja Smith / Lost and Found (FAMM / JSLAFCD01)

ブリット・アワードで批評家賞を受賞したジョージャ・スミスは若手のイギリス人シンガー・ソングライターです。この2年の間にドレイク、カーリ・ユーチーズ、ストームジーなどとのコラボレーションでR&B界の話題を独り占め。彼女の歌は滑らかで暖かみがあり、歌詞の中身も濃い。21歳の彼女にとって上出来のデビュー作、将来が楽しみな人です。

4.



Louis Cole / Time (Brainfeeder / BRC-575)

天才のマルチ・インストルメンタリストというルイス・コールは注目に値します。ロサンゼルス出身の彼が作ってきた一連のYouTubeのビデオは演奏が抜群で、ロー・ファイなセットと映像技術で笑える中身となっていて見応えがあります。彼のバンドKnowerのライブも必見で、フライン・ロータスのBrainfeederレーベルから出ているこのデビュー・アルバムには初期の曲の他に、聴いた途端に引きこまれてしまう新曲も含まれています。「Time」にはブラッド・メルダウとサンダーキャットも参加、微笑みを誘う演奏です。

5.



Blossoms / Cool Like You (Virgin / CDV 3201)

ブロンズはイギリスのマンチェスターに近いストックポート出身のインディ・ポップのバンドです。シンセサイザー中心のとてもメロディックな彼らのサウンドは時々 80年代に人気があったノルウェイのA-Haを彷彿とさせます。結成のきっかけはヴォーカルのトム・オグデンとドラマーのジョー・ドノヴァンが数年前の修学旅行でテーマ・パークを訪れた時の出会いだそうです。賛歌のような「ハウ・ロング・ウィル・イット・ラスト」や「クール・ライク・ユー」をはじめ、素晴らしい曲がいっぱい詰まったアルバムです。